# すぎもりだより

令和８年(2026年)７月
No25
地区協議会

4月25日防災教育の日

杉森小にて仮設トイレを設置。井戸の水を利用することができるか確認しました。

## 「定例総会のご報告」

左から早坂副会長・鈴木会長

５月９日すぎもり地区協議会定例総会を開催。令和７年度活動報告・決算報告、令和８年度活動方針・予算案の４議案すべてが審議承認されました。

## 「会長のご挨拶」

「すぎもり地区協議会」会長　鈴木 孝治と申します。今年で２年目に入りました。

杉森小学校を卒業し長年この地域で生活しています。この「すぎもり地区協議会」には発足の準備から関わらせていただきました。地域の防災力強化・顔の見える地域・地域課題の把握検討など、役員を初め運営委員の皆様と共に取り組んでいます。訓練を通して災害時の動きや各家庭での備えなど地域の皆様と共に学んでいけたらと思います。

## 『みんなで防災意識を高めよう！』

地域でつながり
災害対策

## 「人と人のつながり」

調布市立杉森小学校　校長　野口　直也

この４月より杉森小学校の校長として着任いたしました、野口直也(のぐちなおや)と申します。調布では、国領小・八雲台小･北ノ台小でお世話になっておりました。日頃より、地区協の皆さまには、子どもたちの安全と健やかな成長のために多大なるご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

４月に実施した防災教育の日も、様々なご協力をいただきありがとうございました。そして、地区協が中心となって実施される地域防災訓練は、まさに地域の力が結集した大切な取り組みであると実感しました。引き取り訓練の中でもお話させていただきましたが、このところ全国で大きな地震が続いて発生しています。ご高齢の方から子どもたちまでが参加し、地域の皆さんと互いに声を掛け合いながら訓練に取り組むことは、世代を超えたつながりを実感できる貴重な機会でもあり、いざという災害時に大きな力を発揮します。

また、夏の納涼盆踊り大会は､「調布で一番！」と伺っており、今から楽しみにしております。地域の結束を高めるだけではなく、子どもたちにとってもかけがえのない学びの場となります。地域の皆さんに見守られながら楽しむ経験は、学校教育だけで得られるものではありません。

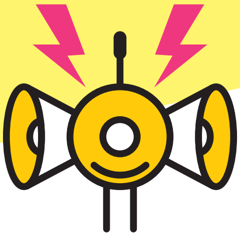
近年、生活様式が変わったことにより地域における人と人のつながりが以前より希薄になり、地域団体や子供会、自治会などの活動を維持することが難しくなっています。しかし、どんなに時代が変わっても、人と人のつながりが大切なことに変わりはありません。こうした状況だからこそ、学校･地域･保護者が協力し合い、新しい形のパートナーシップを築いていくことが求められています。

地区協の皆さまが長年にわたり積み重ねてこられた活動は、子どもたちの成長を支える大きな土台であり、学校にとってもかけがえのない力です。コミュニティ・スクールとして、子どもたちの未来をともに育んでいけるよう、今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4/25（土）

# 防災訓練

## 防災教育の日



調布市職員のリーダーさんを中心に訓練が行われました。すぎもり地区協議会では健全育成や地域の方とともに、三中と杉森小に分かれて参加。「避難所開設訓練」、「避難所の建物利用調査」、「非常用トイレ設置訓練」、「図上訓練」「受付設置」などの訓練をしました。

▲各学校の体育館で避難所体験

▲非常用トイレ水路開栓確認作業

▲防災倉庫内確認

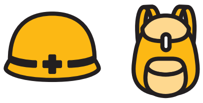
▲倉庫内はどこに何があるかわかりやすくなっています

▲ワンタッチ簡易テント

▲トイレ組み立て・設置

▲ローリングストックの説明

▲非常用トイレ体験



連載 防災コラム
備えあれば ⑮

## 新しい防災気象情報とは？

防災士　加藤洋子（調布市と香川県にいます）

今年５月29日から、国土交通省と気象庁による新たな【防災気象情報】の運用が始まりました。何がどう変わるのか？ 広く浅くですが調べてみました。

### 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

| | 河川氾濫<br>１級河川などの大河川の氾濫 | 大雨<br>低地の浸水や大河川以外の氾濫 | 土砂災害<br>急傾斜地のがけ崩れや土石流 | 高潮<br>海水面の上昇や波の打上げによる浸水 | （警戒レベルごとの）住民がとるべき行動 |
|---|---|---|---|---|---|
| 警戒レベル５相当 | レベル５ 氾濫特別警報 | レベル５ 大雨特別警報 | レベル５ 土砂災害特別警報 | レベル５ 高潮特別警報 | 命の危険　直ちに安全確保！ |
| ＜警戒レベル４までに危険な場所から かならず避難！＞ | | | | | |
| 新設 警戒レベル４相当 | レベル４ 氾濫危険警報 | レベル４ 大雨危険警報 | レベル４ 土砂災害危険警報 | レベル４ 高潮危険警報 | 危険な場所から全員避難 |
| 警戒レベル３相当 | レベル３ 氾濫警報 | レベル３ 大雨警報 | レベル３ 土砂災害警報 | レベル３ 高潮警報 | 避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備を |
| 警戒レベル２ | レベル２ 氾濫注意報 | レベル２ 大雨注意報 | レベル２ 土砂災害注意報 | レベル２ 高潮注意報 | 避難行動を確認（避難場所・避難ルート・避難のタイミングなど） |
| 警戒レベル１ | 早期注意情報 | | | | 災害への心構えを高める |

出典：国土交通省　防災気象情報の改善について（令和８年３月）

●河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の注意報・警報に５段階の「レベル」が付きました。警戒レベルに応じて私たちがとるべき避難行動が示されています。

●警戒レベル４【危険警報】が新設され、危険度が明確化されました。

●河川氾濫の伝え方が変わりました。洪水予報河川かそれ以外の河川かによって、警報の出し方が異なります。

＊この度の防災気象情報で、従来の「洪水」から「氾濫」という表現に変えたのは、一般住民を対象にしたアンケート結果によるとのこと。

＊洪水予報河川に指定されているのは、流域が大きく洪水により重大な損害が生じるおそれがある河川とのこと。身近な洪水予報河川として、多摩川（国管理）、野川・仙川（都管理）があります。

私たちができる行動としては、気象庁や川の防災情報、キキクル、市からの情報などを収集して地域で共有することで、お互いに助け合って早めの避難行動をとれるようにすることです。台風や雨の多い季節に備えましょう。

気象庁ホームページ

国土交通省：川の防災情報

キキクル

# 『ワンちゃん同伴避難（同室避難）防災講座』を開催しました！

6/7（日）

すぎもり地区協議会 運営委員 来田めぐみ

当日は多くの地域の皆さまにご参加いただき、愛犬のケガを防ぐ住まいの災害対策、日常でできる訓練、一緒に安全に避難するための知識について学ぶ貴重な機会となりました。

講師には、東京都獣医師会所属の獣医師であり、野坂獣医科院長の野坂昭文先生をお迎えしました。ペット同伴避難とは何か、災害時に起こりやすいトラブルの実例や対応、日頃から準備しておきたい備蓄品や避難用品について、これまでの災害事例を交えながらわかりやすくお話していただきました。

特に印象的だったのは、実際の災害時に起こったペットの脱走・行方不明・迷子の愛犬探し・野犬化してしまった犬・混乱した避難所の風景・環境の良くないペット用の避難場所など、たくさんの様々な写真を見たときに、備えや実地訓練なしでは想像をはるかに超えた殺伐とした状況になってしまうのだと実感しました。

講座中は参加者の皆さまが熱心に耳を傾け、終了後には多くの質問が寄せられました。

「避難所選びはどうしたらいいのか」「避難所では実際にどのような生活になるのか」「吠える犬への飼い主の対応」等、具体的な質問も多く、ペット防災への関心の高さが伺えました。

今回の講座を通じて、人の防災と共に大切な家族であるペットの命を守るためにも、日頃から地域ぐるみの備えと訓練が、避難生活を円滑にするために欠かせないことであると改めて思いました。

ご参加くださった皆さま、そして貴重なお話しをしてくださった野坂先生に心より感謝申し上げます。

これからも地域の皆さまと共に、安心して暮らせるまちづくりを目指し、防災について楽しく学べる機会を企画してまいります。

## 『地域を知ろう』 染地地域福祉センター（染地３丁目） ボランティアまつり染地 『そめちマルシェ』

5/24（日）

〈主催〉調布市社会福祉協議会
※P4でも紹介しています

当日はいいお天気に恵まれ、たくさんの方が来場しました。すぎもり地区協議会では500パックのアルファ米を用意しましたが、あっという間に配布され、大盛況で無事終了しました。

## 地域のお知らせ

**8月7日(金)・8月8日(土)**
**第38回 杉森地域納涼盆踊り大会**

**10月18日(日) 第46回 杉森地域運動会**

今年もやってきました。大人も子どもも、おじいちゃんおばあちゃんも、みんなが主役になれる競技が盛りだくさん。さらに今年は、例年以上に豪華な賞品を大放出。走っても、応援しても、参加するだけで楽しめる一日です。皆さんの参加を心からお待ちしています！
(主催：杉森開放委員会　横川委員長より)

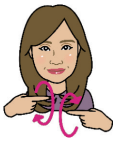
## 生活の相談、ボランティア・地域活動の相談等は… 「調布市社会福祉協議会」の地域担当へ

地域福祉コーディネーター(CSW)と地域支え合い推進員(SC)は、生活上の悩みや困りごとを抱える方などの相談を受け、様々な関係機関や企業・団体、住民主体の活動団体などへおつなぎしたり、関係機関等との連携を図ったりしながら解決に向けた伴走支援を行っています。また、「地域の活動に参加したい」「地域活動等を立ち上げたい」などの地域づくりに関する相談を受け、相談に応じたサポートを行っています。またボランティアコーディネーターは、ボランティア活動の意義を認め、多様な人や組織を対等につなぎ、新たな力を生み出せるよう調整するなど幅広い市民活動を総合的に支援しています。

その中で今回は、5月28日(日)に開催された**「第30回ボランティアまつり染地　そめちマルシェ」**について報告します。

生活上の困りごとの相談をしたい、子ども食堂に参加したい、ボランティア活動をしたい、活動を立ち上げたいなどのご相談は下記の地域担当までご連絡ください。

【地域担当】
- 染地地域福祉センター内　染地ボランティアコーナー
  ☎481-3790　火～土　9時～17時
  ボランティアコーディネーター　渡邉
- 調布市総合福祉センター内　地域福祉推進係
  (染地・杉森・布田小エリア担当)
  ☎481-7693　月～金　9時～17時
  地域福祉コーディネーター(CSW)　川原
  地域支え合い推進員(SC)　高畠


渡邉

川原

高畠(たかばたけ)

### 第30回　ボランティアまつり染地 ＼そめちマルシェ／

お天気に恵まれ1,000人を超える地域の方々で賑わいました。

ボランティアまつり染地は、「踊りや楽器演奏、合唱・朗読など日々の練習を舞台で発表したい」「活動を紹介したい」「活動資金を得るために焼きそば、たこ焼きなど出店したい」等、それぞれの目標を持った30団体が実行委員会を立ち上げ、開催するおまつりです。

すぎもり地区協議会の皆さまにも「防災」をテーマにした活動紹介・アルファー米無料配布・ローリングストックの展示、そしてテント設営等で参加いただき、「ボランティアまつり染地　そめちマルシェ」の欠かせない存在となっています。

これからも地域の皆様に愛される「ボランティアまつり染地　そめちマルシェ」を目指して、協力関係を深めてまいりたいと思います。

## 福祉や介護に関する相談等は… 「調布市地域包括支援センターときわぎ国領」へ

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として調布市から委託を受けている機関です。担当地区は、染地全域、国領町6・7丁目、布田5・6丁目、多摩川6・7丁目です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、介護保険の申請や適切なサービス等をご案内しております。困った時にはお気軽にご相談ください。

所在地：国領町7-32-2 デュスモン国領101
電話：050-5540-0860
開所：月～土　9時～18時 夜間及び日曜は転送電話対応

### ぜひお越しください「ケアラーカフェin染地」

参加費無料

染地地域福祉センターにて毎月、家族介護者が集うおしゃべり場「ケアラーカフェ」を開催しております。

介護の思い出や工夫、介護をしている今の気持ち、今後の不安など、お茶を飲みながら自由にお話できる場所です。当センターの認知症地域支援推進員や介護経験のある地域ボランティアがお待ちしております。一緒にお話しませんか？どなたでもお気軽にご参加ください。

| | |
|---|---|
| 日時 | 毎月第3月曜日 13:30～15:00(祝日も開催) |
| 場所 | 染地地域福祉センター 第1・第2会議室 |
| 申込 | 不要　直接会場にお越しください |


令和8年7月発行　調布市染地2-25-4 調布市立杉森小学校内 すぎもり地区協議会　会長　鈴木 孝治